

2023年度 2組織（繊維・化学）合同講演会の開催のお知らせ

近畿本部2組織（繊維・化学）主催の合同 CPD 認定講演会です。近畿本部会場出席（定員 18 名）とオンライン（terms）を併用しての開催です。事前資料の配布や招待メールは、参加申込者にお知らせします。なお、参加費は指定口座にお願いします。

- テーマ：「健康・安全・環境に係る技術力の発揮」
- 日時：2024年3月9日（土） 13：30～17：00 （受付：13：00～13：30）
- 場所：(公社)日本技術士会 近畿本部会議室（近畿富山会館2階）+web(Teams 配信)
- 内容：

《演題1》世界の海水淡水化に貢献する日本の膜技術

《講師》 栗原 優氏（東レ株式会社フェロー、国際脱塩協会理事）

《要旨》 逆浸透膜法（RO 法）は海水淡水化や下水の再利用など多くの用途展開が可能である。特に海水淡水化は中東中心に長年蒸発法と競合してきたが、2010 年以降は RO 法が 70% の市場シェアとなった。技術的には、プラント運転のエネルギーは太陽光発電となり、再生可能電力による RO 淡水化となって、グリーンデサリネーション（環境配慮脱塩）を指向し始めた。さらに従来の海水淡水化技術は造水のみであったが、今後はブライン（濃縮海水）からの資源回収やグリーン水素の製造などの新しい膜技術への挑戦が進行中である。

《演題2》 繊維製品の化学物質管理とサステナビリティ

《講師》 兒玉哲夫氏（技術コンサル"サポサス"代表、化学物質管理士補）

《要旨》 多くの部材や素材からなるアパレル・フットウェア（繊維製品）には様々な化学物質が使われており、直接肌に触れるため、海外では多くの物質が規制されています。国内で規制されている化学物質は、主にホルムアルデヒドと特定のアゾ染料です。一方、業界を取り巻く環境として、水や化学物質の使用、衣類の大量廃棄、人権・労働環境等の問題からグローバル認証も広がっています。今やサステナビリティの取り組みなしに企業活動は成り立たず、化学物質管理を主体としてそのトレンドを紹介します。

- 申込方法：以下の URL より 3 / 7 までに申し込みください。

<https://forms.gle/MjDt4gMkPovxsn4q7>

払込先：参加費は下記の口座に、事前に振込みください。

送金先 KL 口座：ゆうちょ銀行「日本技術士会近畿本部化学部会」14310-83365591

（補足）ゆうちょダイレクトに登録して送金をされますと送料手数料は月 5 回まで無料
送金先 KM 口座：三井住友銀行園田支店「日本技術士会近畿本部化学部会」422-5242598

（補足）三井住友銀行ネットバンキングに登録して送金をされますと送料手数料は無料
参加費（資料代）：会員 2,000 円、非会員 3,000 円、近畿本部協賛団体（化学部会）は無料

備考：日本技術士会員（KL 口座）、化学物質管理研究会員（KM 口座）、他はどちらも可

資料配布方法：電子ファイルにて、一括メール送信方法にて、開催前にお送りします。

CPD 参加票：講義終了後に参加者にお送りします。

問合せ先：齋藤 俊 saitoh@atac.ne.jp（当日の緊急連絡用）090-3485-5527

以上